

## ■仕様定格

(○: 該当 ×: 非該当)

品名	本体ユニット	増設ユニット	異種系統ユニット	三相4線ユニット
品番	BT3720KN	BT3722KN	BT37201KN	BT37202KN
相線式	単相2線/ 単相3線/ 三相3線	○ 本体ユニット単体で使用でき、また本体ユニットと増設ユニット、 異種系統ユニットとの組み合わせでも使用できます。		×
	三相4線	×		○
本体精度 ※7 ※8	50~600A CT (品番末尾KN) 使用時	瞬時電力(kW)	精度±1.0%(定格入力に対して)	同左
		積算電力量(kWh)	精度±1.0%(定格電流の3.3~100%範囲、力率1)	同左
		電圧(V)	精度±1.0%(定格入力に対して)	同左
	/5A CT、 5A CT、 カンタッチ ブレーカCT内蔵 カンタッチパー 専用CT使用時	電流(A)	精度±1.0%(定格入力に対して)	同左
		力率(%)	精度±3.0%(定格入力に対して) <sup>※9</sup>	同左
		瞬時電力(kW)	精度±2.0%(定格入力に対して)	同左
		積算電力量(kWh)	精度±2.0%(定格電流の5.0~100%範囲、力率1)	同左
		電圧(V)	精度±1.0%(定格入力に対して)	同左
		電流(A)	精度±1.0%(定格入力に対して)	同左
力率(%)	精度±3.0%(定格入力に対して) <sup>※9</sup>	同左		
計測回路数	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体ユニットと増設または異種系統・組み合わせで最大16回路。全回路ともパルス計測に置換えが出来ます。</li> <li>●本体ユニット単体で4回路、増設または異種系統ユニット追加ごと4回路追加。</li> </ul>			1系統4回路
	単相2線の場合は回路数は各2倍。パルスでは2倍にできません。			
自動ロギング	計測項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>「時間別」1時間ごとの積算電力量、パルス積算量<sup>※10</sup></li> <li>「日別」1日ごとの積算電力量、パルス積算量<sup>※10</sup></li> <li>「月別」1月ごとの積算電力量、パルス積算量<sup>※10</sup></li> </ul>		
	収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内部メモリに、「時間別」最新65日分、「日別」最新1年分、「月別」最新3年分を保存します。</li> <li>●SDHC/SDメモリーカード(差込時)で内部メモリに保存されたデータのうち、今月、先月のデータを取り出し可能です。<sup>※11</sup></li> </ul>		
詳細ロギング	計測項目	1分ごとの瞬時電力・積算電力量・電圧・電流・パルス積算量		
	収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体ユニット内部メモリに、最新1日分(24時間分)保存します。</li> <li>●SDHC/SDメモリーカードで取り出し可能です。</li> </ul>		
定格入力電圧	単相2線、単相3線: 100/200V 三相3線: 110、220V		110/190V、120/208V 220/380V、240/415V	
許容電圧範囲	AC100V~240V 50/60Hz(-15%、+10%)(電源と共用です)			
定格入力電流	/5A、5A、50A、100A、250A、400A、600A、カンタッチブレーカCT内蔵(30A)、 カンタッチパー100A/225A専用CT(/5ACT)はお客様にて準備していただく2次側 出力5A定格の汎用CTと組み合わせて使用)。			
パルス入力	入力方式: 無電圧a接点またはオープンコレクタ(NPN) 接点条件: DC10V、10mA以上 オープンコレクタ条件: リーク電流1mA以下 パルス条件: パルスON、OFF時間30ms以上 許容チャタリング 3ms以下 パルス最大入力可能数: 毎時32,000/パルス以下 パルス入力ケーブル長さ延長: 100m以下(電線径0.9mm <sup>2</sup> 以上) 「重み」は、0.1~6553.5(0.1単位)の範囲で設定可能。			×
通信方式	RS-485 2線式/4線式			
定格消費電力	10W(20VA)(組み合わせ仕様により消費VAは変わります。本体1+増設3+表示ユニットの例)			
使用条件	温度	-10~+50℃		
	相対湿度	30~80%以内(結露なきこと)		
停電補償 <sup>※12</sup>	200時間			

## ■パルス出力ユニット(BT37221N)仕様

仕様	電力量に応じたパルスを出力
出力回路数	最大4出力
パルス出力単位	1kWh/pulse または 0.01kWh/pulse(選択可) パルス最大出力可能数 4パルス/毎秒以下 <sup>※13</sup>
パルス幅	ON 幅: 110ms±10ms OFF 幅: 100ms 以上
接点仕様	無電圧a接点 接点容量 DC30V 100mA

※7) CT誤差含まず(比誤差±1%、位相差±1度)。ただし、  
カンタッチパー専用CTは比誤差±2%、位相差±2度。  
※8) 以下の箇所を計測する場合、許容精度範囲を超えること  
があります。  
・電流値が極端に小さい箇所 ・電流が歪んでいる箇所  
・力率が低い箇所 ・強磁界のある箇所

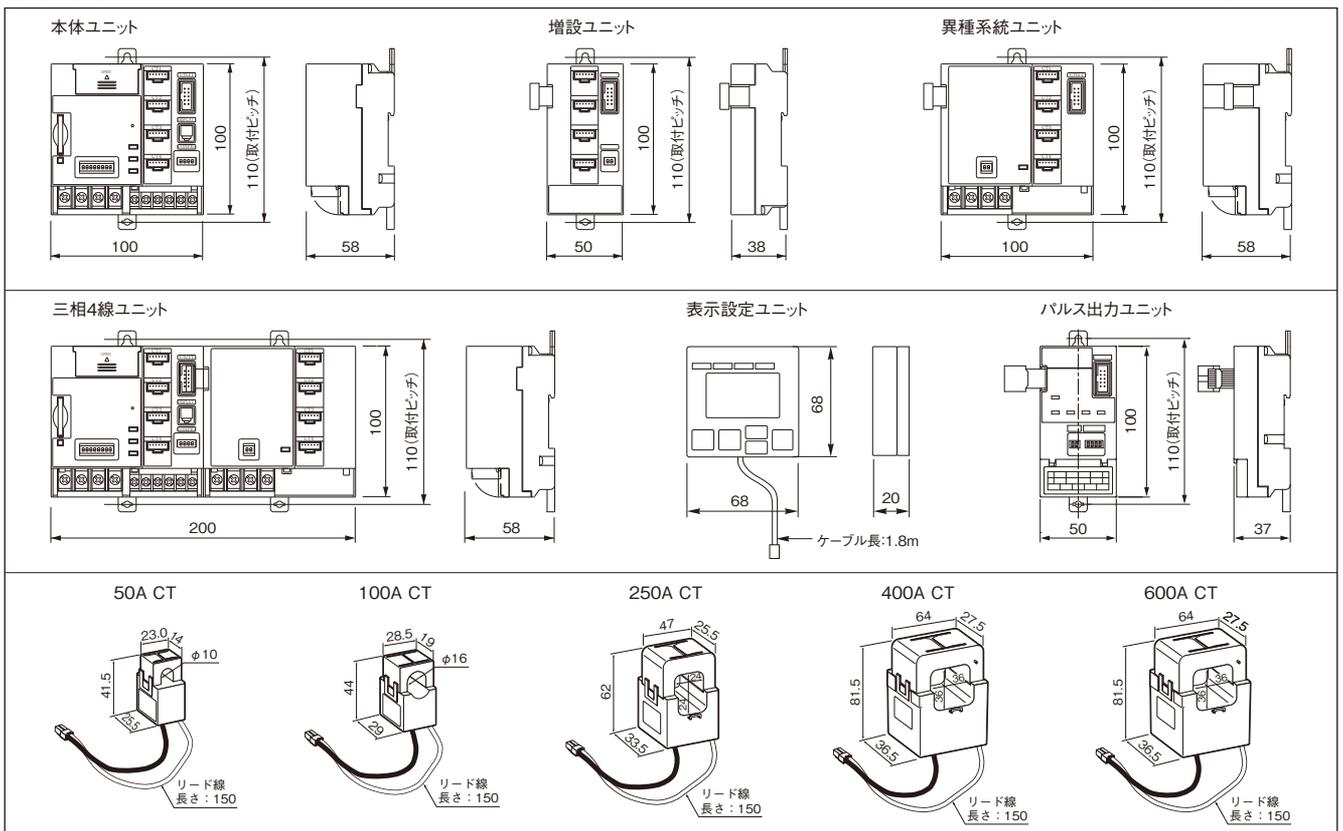
※9) 本器の三相での力率演算は平衡負荷を前提とした方式  
です。不平衡負荷では力率の誤差が大きくなる場合が  
あります。  
※10) 三相4線ユニットでパルス積算することはできません。  
※11) 65日分のデータではありません。  
※12) バックアップ用2次電池満充電で周囲温度25℃時(満  
充電まで約24時間の充電が必要)。  
※13) 1kWh/Pulse選択時は14,400kW  
0.01kWh/Pulse選択時は144kWを超える瞬時電力は  
パルス出力できません。

注1) パルス出力単位は、ユニット毎(4回路共通)となります。  
注2) パルス端子の割り当ては、1~4、5~8、9~12、13~16  
回路となります。単相2線の場合は、01R、01T、02R、  
02Tの前半組み合わせか、03R、03T、04R、04Tの  
後半組み合わせかを選択します。  
注3) 三相4線ユニットは接続できません。

●パルス出力端子接続推奨電線: CPEV-S(CPEV線-  
シールド付き)φ0.9以上

## ■寸法図

(寸法表示単位: mm)

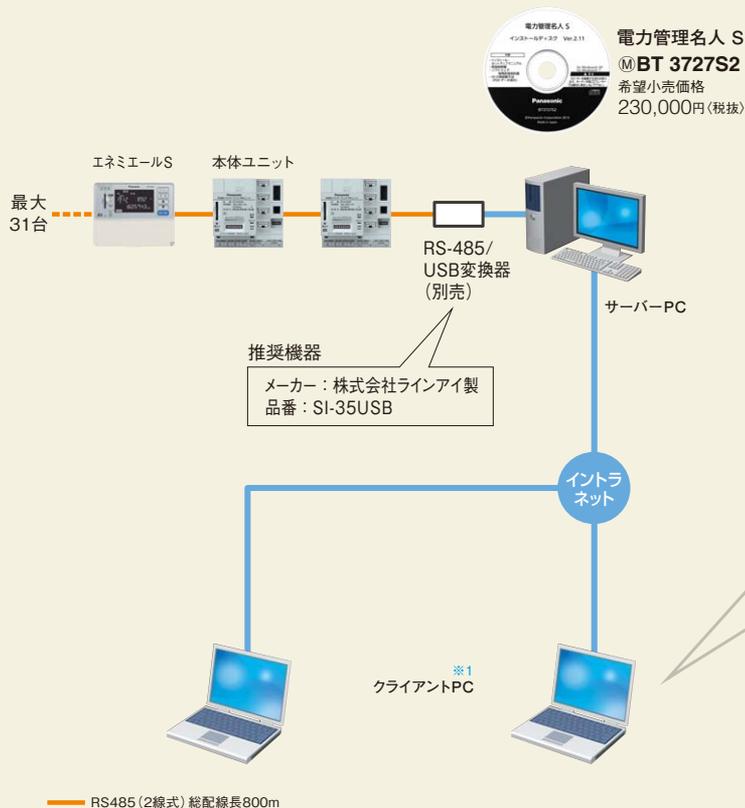


# パソコン、ネットワークでのエネルギー管理のご提案

注) 購入前に必ず導入先のネットワーク管理者様との打ち合わせを行ってください。詳細は商品仕様書・取扱説明書「導入前のご注意」にてご確認ください。

## 電力管理名人Sで運用

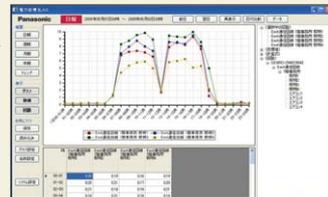
## RS-485でエネルギー計測データの集中管理、運用ができます。



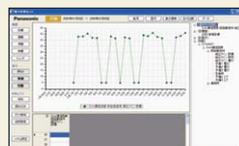
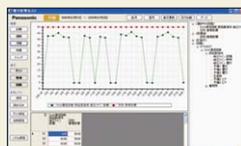
エネルギー使用量をグラフ化し、省エネポイントを発見・見直しができます。計測端末を最大31台管理可能。(最大管理点数496回路)

### ●帳票作成

表示したい計測回路を、最大32回路まで選択し登録できます。日報、週報、月報、年報の作成、日付比較、帳票の印刷・保存が可能。



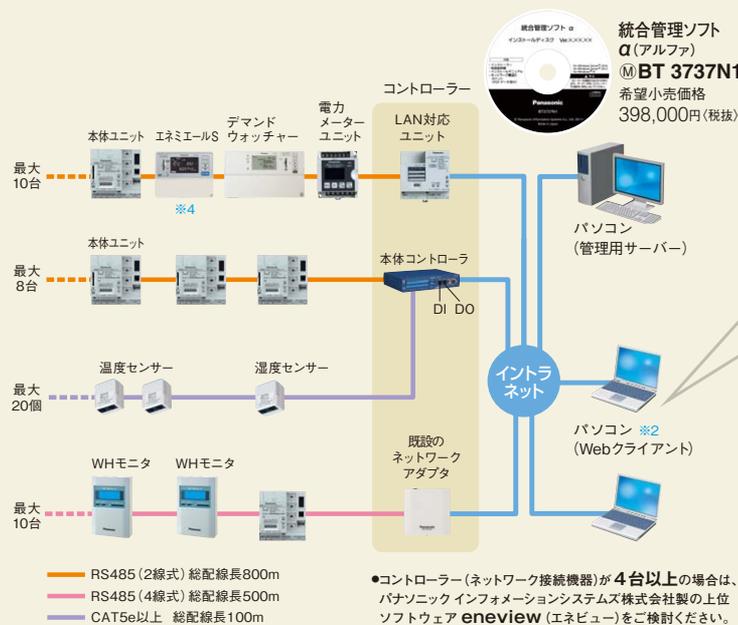
### ●各種機能



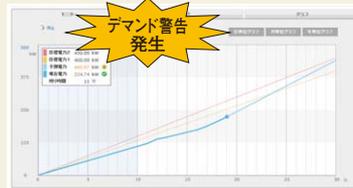
※1) クライアントパソコンを接続する場合はLAN環境の構築が必要です。クライアントパソコンの最大接続数は10台までです(サーバーPCを含む)。

## 統合管理ソフトαで運用

## 3種類のコントローラーを最大3台まで統合管理ができます。



ロケーション表示、各種帳票・グラフ機能でカンタン見える化。計測端末を最大30台管理可能(最大管理点数480回路)。

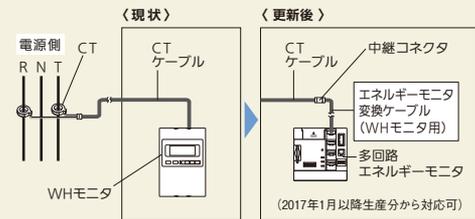


簡易デマンド機能で使い過ぎをメールでお知らせ ※5、※6

### ●WHモニタの更新について

既存のCTやCTケーブルはそのまま、WHモニタを多回路エネルギーモニタに更新いただけます。エネルギーモニタ変換ケーブル(WHモニタ用) (別売)が必要です。

●その他各種条件があります。詳細はご相談ください。



※2) クライアントパソコンの最大接続数は5台です(管理用サーバーを含む)。

※3) 背景画像はお客様にてご準備いただく必要があります。

※4) エネメールSで計測・記録された簡易デマンド値は取得できません。

※5) 参考値としてお使いいただける数値です。

※6) メール送信をするには、別途メールサーバーが必要になります。